



平成も残すところ1ヶ月、新しい時代を迎えようとしています。本会では、1月からさまざまな事業を展開いたしましたので、ここにご報告いたします。

1. 専攻科特別研究発表会

東京高専の教育内容や産学連携の可能性を探る絶好の機会と言われております専攻科特別研究発表会が1月26日(土)に開催されました。発表会には、技術懇談会会員、東京工業大学大学院の先生方、東京高専の在校生、教員等多数の方にご参加いただき、真摯な発表と熱心な質疑が行われました。



(新保校長の挨拶)

発表会終了後、本会主催による表彰式と懇親会が生協食堂で行われ、濱田会長から、成績優秀な7名に表彰状と図書券が贈呈されました。表彰された7名は以下のとおりです。

機械情報システム工学専攻(3名):

馬上 生、澁田 叡知、中新井田 覚志

電気電子工学専攻(2名):

石川 力、田崎 太郎

物質工学専攻(2名):

鈴木 美華、原田 祐弥



(受賞を喜ぶ濱田会長と受賞者)

2. 信頼性安全技術研究会

平成31年2月20日(水)東京高専を会場として東京都立産業技術研究センター連携グループ「信頼性安全技術研究会」による発表会及び交流会が開催されました。本研究発表会は、平成27年11月に第1回が開催され、今年で3回目を迎えます。

①. 見学会

発表会に先立ち、産業技術センター、ものづくり教育センター、山本研究室及び高専教育改革の一環として東京高専が取り組んでいる「社会実装教育」の場になるとともに更なる地域連携や産学連携の強化を目指す新校舎「コラボレーション・コモンズ」を見学しました。

②. 発表会

発表に先立ち、信頼性安全技術研究会会長代理(株)JUKI玉沢氏、東京高専新保校長及び東京高専技術懇談会濱田会長よりそれぞれ挨拶が行われました。

【研究発表会】

研究会メンバーからは、日本アルミット(株)河合 俊氏による「はんだ付の基礎」と題した発表が行われました。

続いて技術懇談会からは、(株)スリーボンド 桐生竜浩氏による「接着剤の基礎評価および信頼性評価方法について」と題した発表が行われました。

休憩を挟んで最後に東京高専機械工学科山本祥正准教授による「ゴムの話」が行われました。



発表会終了後には、会場を移動して、多くの研究会メンバーや技術懇談会会員企業が参加しての交流会が和やかに行われました。

3. 匠塾開講

2年ぶりとなる企業の若手技術者・経営者を対象とした「匠塾」を開催いたしました。当初3講座を予定いたしましたが、受講申込者が開講人数に達しなかった1講座を除いた2講座が開講されました。

3月6日は機械工学科堤先生の「技術者のためのシーケンス制御機器基礎講座」、3月7日には、電子工学科水戸先生の「生産現場のためのIoT基礎講座」が開催され、併せて15名の会員企業のみなさまにご参加いただき、熱心に実習に取り組んでいただきました。今後も、企業技術者に役立つ実践的なテーマを選んで実施する予定で、地域企業の技術者教育の一助となるよう取り組んで参ります。



「技術者のためのシーケンス制御機器基礎講座」受講風景



「生産現場のためのIoT基礎講座」受講風景

4. 異業種交流会開催

3月14(木)、異業種交流会を開催いたしました。今年新たに技術懇談会に入会いただきました3社の方による会社及び開発装置の紹介やものづくりを意識した開発への心構へについての講演、その後、場所を移しての交流会(懇親会)を実施し、活発な意見交換、名刺交換が行われておりました。

講演者等は、次のとおりです。

第1部 オリент技研株式会社

取締役社長 後藤康彦氏

第2部 株式会社ボード・プランニング

代表取締役社長 大谷保憲氏

第3部 日新電子工業株式会社

執行役員 中島孝浩氏

5. コラボレーション・コモンズ完成式典が挙行

平成31年の東京高専は、コラボレーション・コモンズのお披露目で幕を開けました。1月8日の完成式典には多くのご来賓の出席を賜り、盛大にお披露目式が執り行われ、東京高専内外に広くコラボレーション・コモンズとその機能、東京高専で行われる教育の成果の例をお示し致しました。

この建物は来年度の4年生から本格的に始まる社会実装教育の実現のため、1階には定員90名のラーニング・コモンズを配置して、最先端のアクティブラーニングを実践できる環境を整備し、2階と3階には企業や地域社会、学科を超えたコラボレーションを実践するレンタルラボ、そのようなコラボをコーディネートするスペース、ものづくりを比較的自由に行えるファブラボがあります。

新しい高専教育の柱たる社会実装教育の環境は整いました。これからも東京高専の社会実装教育にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(文責:総合教育支援センター長 庄司 良)



テープカットでコラボレーション・コモンズの完成を祝う
左から、新保東京高専校長、谷口国立高専機構理事長、萩生田衆議院議員、山崎文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部技術参事官、安間八王子市教育委員会教育長、八木多摩信用金庫理事長

6. 社会実装教育フォーラム

3月1日・2日の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「社会実装教育フォーラム」が開催されました。学生、学識経験者、企業関係者、高専関係者、引率教員等延べ529名が出席する中、後援団体である東京高専技術懇談会会員企業からも多数の方々にご参加頂きました。

このフォーラムは、学生らが一年間取り組んできた食・農関係、社会インフラ・公共サービス、防災システム、医療・福祉関係、地域活性化、教育支援等の分野の研究で、社会と向き合い、課題を発掘し、その解決に向けた取り組みを成果として発表し、教育観点からコンテスト形式で評価するものです。19高専71チーム126名の学生が参加し、1日目の80秒間のショート・オーラル発表と3分間のポスター発表の審査で選ばれた8チームが、2日目のファイナル発表を行いました。東京高専から参加した8チームは惜しくもファイナル発表進出を逃しましたが、ショート・オーラル発表の内容が評価され、4チームが構想賞や要素技術賞を受賞しました。

本フォーラムは来年度以降も継続的に開催予定です。皆様のご来場をお待ちしております。



校内の桜もまもなく満開（撮影3月25日）

技術懇談会の更なる発展のため新たに入会していただけの企業(個人会員)を募集しております。会員企業のみなさまからのご紹介をお待ちしております。

<連絡先>

事務局メールアドレス：info@gizyutsucon.com



ポスター発表を審査する濱田会長



ファイナル発表

(文責:副校長 鈴木雅人)